

冬に流行りやすい感染症

感染症は一年を通じて発症しますが、冬の寒い時期に流行りやすい感染症をご紹介します。ただし最近では寒くなっても手足口病が流行るなど、季節は関係ない場合もありますので、基本的には年中気を付けていただいた方が良いでしょう。

インフルエンザ...飛沫・接触感染

インフルエンザウイルスに感染することで起こります。

症状) 高熱・頭痛・関節痛などの全身症状。喉の痛み・鼻汁・咳など。
治療) 抗インフルエンザウイルス薬がありますが医師が必要とした人に処方されます。
脱水予防には水分補給です。
予防) 予防接種・手洗い・咳エチケット
登園基準) 解熱して、平熱で3日間経過してから。

RS ウィルス感染症 ...飛沫・接触感染

2歳までのほとんどの子どもが1度は感染するとされています。RS 呼吸器の感染症です。
症状) 初めての感染では、咳・鼻水。悪化すると喘鳴や呼吸困難症が見られます。次の感染は発熱・咳・鼻水などの症状がみられます。 登園基準) 呼吸器症状が、
治療) 抗ウィルス薬はありません。 消失し全体状態がよい症状を和らげる治療です。 こと。
予防) ワクチンはありません。
手洗い、マスク、咳エチケット

感染性胃腸炎 ...飛沫・経口感染

ウイルスが原因で下痢・嘔吐の症状を起こす病気の総称です。有名なウイルスはノロウイルスやロタウイルスがあります。風邪のウイルスで症状を起こすことも多い為「お腹の風邪」と診断名を言われることもあります。
症状) 嘔吐・下痢・腹痛・発熱など
治療) 抗ウィルス薬はありません。早くウイルスを体の外に出した方が早く回復するため、下痢止めや吐き気止めは使わない方が良いでしょう。
登園基準) “園のしおり”の下痢・嘔吐の時の登園基準に準じます。下痢止めや吐き気止めを飲まずに症状が24時間ない事が目安です。



病児保育室

職員全員が、ティッシュを入れたバッグを肩から下げ、ビニール袋と消毒剤を常に持って手指消毒を行っています。

咳エチケットって知っていますか？

咳をすると、細菌はこんなに飛ぶよ

風邪をひくとコンコン、クシャンとくしゃみ鼻水がでますね。咳やくしゃみは、喉の奥についた細菌を、外へ追い出すために出ます。咳やくしゃみの中には、風邪の細菌が一緒に飛んでいきます。どれくらい飛んでいくか知っていますか？コンコンすると2m、ハクションとすると5mくらい遠くまで飛んでいきます。

咳やくしゃみをするときは、お友だちにかからないように他の人にしぶき(飛沫)をかけないように、心がけましょう。

どうしたら、いいかな？

■咳やくしゃみをするときは口を覆いましょう



■マスクをしましょう



一番良いのは、咳があるときにはマスクをすることです。咳やくしゃみが出る時は、ティッシュなどで口や鼻を覆うか、口を腕で覆います。絶対にお友だちの顔に向けてはしません。
使ったティッシュは、すぐにごみ箱へ捨てましょう。
手で口を覆いくしゃみをした後は、手に風邪の細菌がついているので、石けんで手を洗います。

■手を洗いましょう



先月の病児保育利用数と疾患

利用数 3名

急性気管炎
急性中気管炎